



**MODEL : SPSOS-1500**

**スーパーグリーンジャンプスターター (CPU 内蔵) 取扱説明書**

この度は、SPSOS-1500 : スーパーグリーンジャンプスターター (CPU 内蔵) のお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前には内容品の確認と使用時における注意事項を熟読頂き、ご理解の上ご使用くださいますようお願い致します。

【適応】



**△ 危険 : 重要 △  
車両整備士以外の取扱厳禁 !**

【セット内容】

**・ 始動用電流 : 12V → 800A  
24V → 1500A**

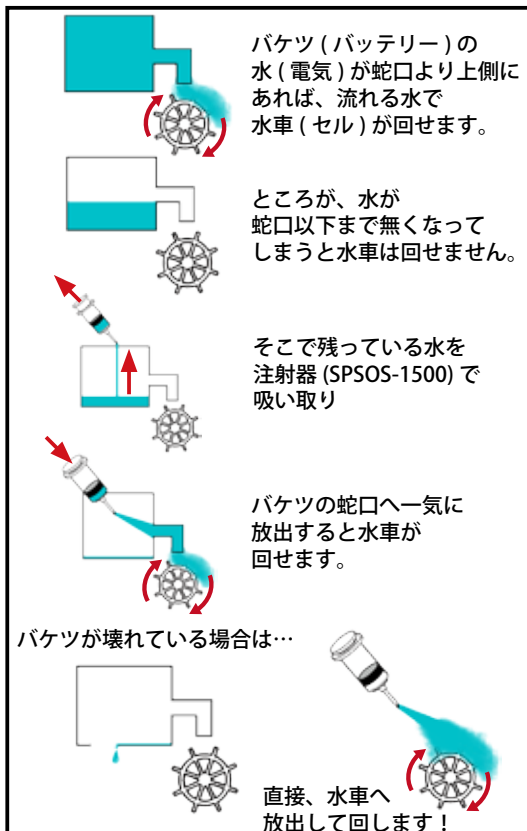
◆ サイズ

○幅	460 mm
○高さ	120 mm
○奥行	320 mm

図番	商品名	備考
1	ジャンプスターター本体	重量 : 10.4kg
2	ジャンプコード (⊕、⊖)	1.5 m



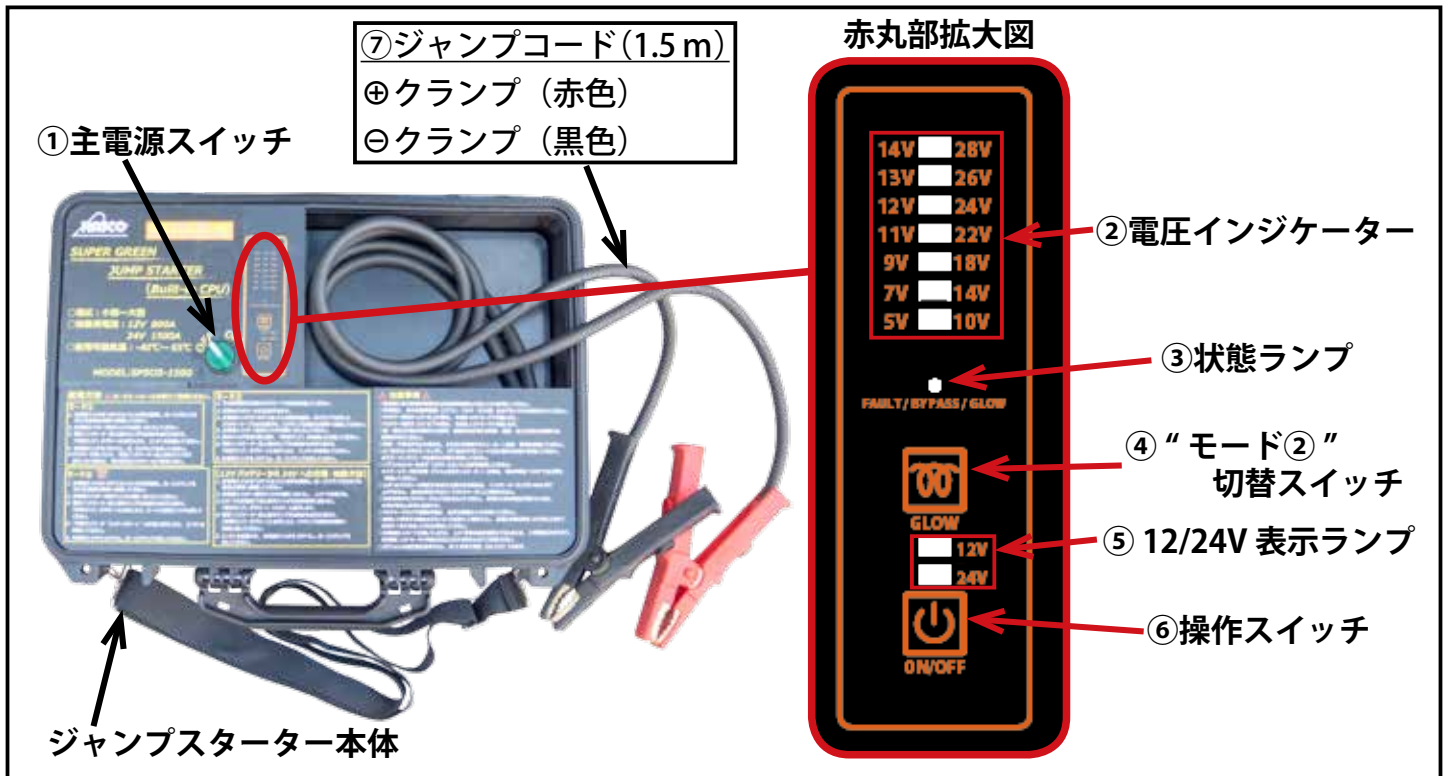
この製品を簡単に説明すると…



【本製品の特徴】

- 本製品は従来のジャンプスターターとは異なります。
- 本製品を使用すると、セルが回せないほど弱ったバッテリー自身から僅かな電気を引き出し、ブーストさせて一気に噴出させる事ができます。  
これはつまり、バッテリー上がり車の自身の力でエンジンを掛ける事ができるという画期的な発明なのです。
- さらに、12/24V バッテリー両方に対応しているのでこれ1台あれば、あらゆる危機的状況に対処できる優れものです。
- 使用環境温度は、-40℃ ~ 65℃まで。天候に左右される心配はありません。
- 3つのモードにより始動可能です。

## 各部名称



### ①主電源スイッチ

○	OFF
●	ON

### ②電圧インジケータ・・・本機の充電量を表示

### ③状態ランプ

●	充電完了 (モード①・③)
●↔●	充電完了 (モード②のみ)
●	異常

### ④“モード②”切替スイッチ・・・モード②のみ使用

(“モード①”と“モード②”の切替スイッチ)

### ⑤ 12/24V 表示ランプ

●	12V モード
●	24V モード

### ⑥操作スイッチ・・・充電 ON/OFF スイッチ、“モード③”切替スイッチ

### ⑦ジャンプコード・・・1.5 m (⊕クランプ / 赤色、⊖クランプ / 黒色)

## 【使用前の注意事項】

- ◎使用前には車の整備要領書または取扱説明書をよく読んでから使用してください。
- ◎作業前に、車の各種電装品（エアコン・ラジオ・灯火類）は必ず切ってから作業を行ってください。
- ◎バッテリー電圧が 15V 以上の場合、本機は 24V モードで作動します。
- ◎バッテリー電圧が 15V 以下の場合、本機は 12V モードで作動します。
- ◎雨・雪などが掛かる場所での使用、直射日光が当たる場所・湿気・ほこりが掛かる場所での保管はやめてください。
- ◎異常・不具合が生じた場合は、ただちに使用をやめてメーカーへ点検・修理を依頼してください。
- ◎AT 車はセレクタをパーキングに、MT 車はギアをニュートラルに掛けた状態で使用してください。パーキングブレーキを掛けた状態で使用してください。
- ◎イグニッションキーは必ず「OFF」になっていることを確認してください。  
※スマートキー対応車種（プッシュボタン式スターター）の場合、車の状態が「OFF」であることを確認してください。

## 【使用時の注意事項】

- モード①→②→③の順で作業してください。
- 上がったバッテリーがあまりにも弱すぎる場合は、インジケータランプが MAX まで上がりません。  
“プレチャージ”で始動するようにしてください。

※プレチャージ…極まれに、消耗したバッテリー内の電圧が低すぎる事により、本機への充電が行われない場合があります。その場合、予め電気が残っている他車、又は他のバッテリーからチャージしてください。

- ▲本体充電中にバッテリークリップを外さないでください。非常に大きな電流が流れている為、火花が発生し非常に危険です。
- ▲バッテリークリップの脱着の際は、必ず主電源スイッチを切ってください。
- ▲連続して使用する場合のクランキングを最大 3 回までとし、充電と充電の間を 20 分以上あけて十分に本体を冷ましてから作業をしてください。
- ▲本製品を 24V で充電してしまうと、12V 車用の適正電圧にするためには、2 時間ほどかかります。その間は 12V モードで作動させることはできませんのでご注意ください。
- オプションの減圧器を使用すると、約 5 分程で降圧（DC12V）にできます。

## 【使用方法】

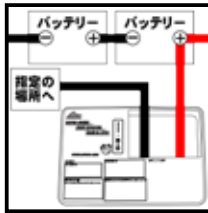
### 作業手順・・・モード①



主電源スイッチが OFF になっている事を確認する。

12V 車接続時

24V 車接続時



⊕ クランプ（赤色）をバッテリーの⊕端子に、  
⊖ クランプ（黒色）をボデーアース（各車輛の整備要領書または  
取扱説明書に記載されている指定の場所）へ接続する。



主電源スイッチを ON にする。（スイッチ自体が **グリーン** に点灯）  
バッテリーからの電圧を検知し、12V/24V のインジケータが  
点灯する。

12V モード時

24V モード時



「表示ランプ」が「12V」又は「24V」のどちらかが点灯し、  
バッテリーの電圧と同一であることを確認してください。



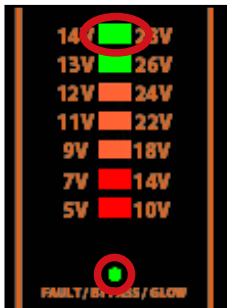
操作スイッチ

操作スイッチを押す。

本体は充電を開始し、電圧をインジケータ上に表示。

ランプが表示されない場合、充電不可能・失敗となります。

“プレチャージ”へ移行してください。



電圧インジケータ最上部のランプが点滅から点灯に変わり、  
「状態ランプ」が **グリーン** に点灯する。

インジケータランプが途中で切れた場合、充電失敗となります。

“プレチャージ”へ移行してください。



エンジンを始動する。



エンジンが正常に始動したら、主電源スイッチを OFF にする。



⊕、⊖ クランプを外して作業完了。

全ての作業が終了したら、初期状態に戻す（余分な内部電気を消耗させる）為、  
主電源スイッチを ON にし放置するか、オプションの減圧器を使用して内部  
滞留電気を消耗させてください。

# 作業手順・・・モード②

モード①で再始動できない場合、モード②を使用



主電源スイッチが OFF になっている事を確認する。

12V 車接続時

24V 車接続時



⊕クランプ（赤色）をバッテリーの⊕端子に、  
⊖クランプ（黒色）をボデーアース（各車輛の整備要領書または取扱説明書に記載されている指定の場所）へ接続する。



主電源スイッチを ON にする。（スイッチ自体が **グリーン** に点灯）  
バッテリーからの電圧を検知し、12V/24V のインジケータが点灯する。

12V モード時

24V モード時



「表示ランプ」が「12V」又は「24V」のどちらかが点灯し、  
バッテリーの電圧と同一であることを確認してください。



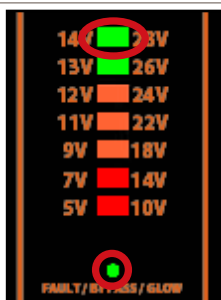
操作スイッチ

操作スイッチを押す。

本体は充電を開始し、電圧をインジケータ上に表示。

ランプが表示されない場合、充電不可能・失敗となります。

“プレチャージ”へ移行してください。



電圧インジケータ最上部のランプが点滅から点灯に変わり、  
「状態ランプ」が **グリーン** に点灯する。

インジケータランプが途中で切れた場合、充電失敗となります。

“プレチャージ”へ移行してください。



モード②  
切替スイッチ

モード②切替スイッチを押す。



「状態ランプ」が **レッド** ⇄ **グリーン** と交互に点灯する。

※ **グリーン** 点灯のままだと、“モード①”となる。



エンジンを始動する。



エンジンが正常に始動したら、主電源スイッチを OFF にする。



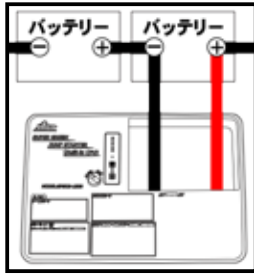
⊕、⊖クランプを外して作業完了。

全ての作業が終了したら、初期状態に戻す（余分な内部電気を消耗させる）為、  
主電源スイッチを ON にし放置するか、オプションの減圧器を使用して内部  
滞留電気を消耗させてください。

# 12V バッテリーから充電し、24V 車を始動する作業手順



主電源スイッチが OFF になっている事を確認する。



⊕ クランプ（赤色）を 12V バッテリーの ⊕ 端子に、  
⊖ クランプ（黒色）を 12V バッテリーの ⊖ 端子へ接続する。



主電源スイッチを ON にする。（スイッチ自体が **グリーン** に点灯）



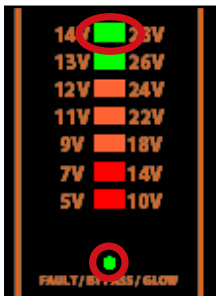
操作スイッチを押す。  
はじめに 12V モードでフル充電する。



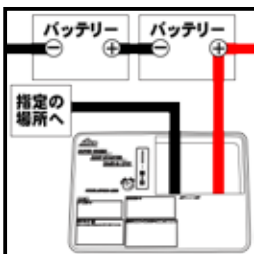
操作スイッチを数秒間、押し続ける。



本体の「表示ランプ」が **グリーン**（24V モード）に点灯し、  
充電を開始する。



電圧インジケータ最上部のランプが点滅から点灯に変わり、  
「状態ランプ」が **グリーン** に点灯したら充電完了です。



左図のように ⊖ クランプ（黒色）をボデーアース（各車輛の整備要領書または取扱説明書に記載されている場所）へ接続し直し、エンジンを始動する。



エンジンが正常に始動したら、主電源スイッチを OFF にする。



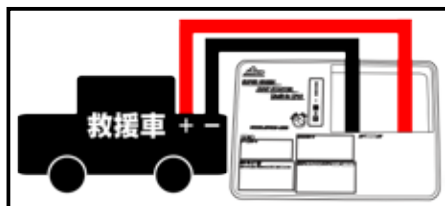
⊕、⊖ クランプを外して作業完了。

# 作業手順・・・モード③

※用意するもの  
・スパナ (M10~12)  
(・新品バッテリー)

モード①と②で再始動できない場合、モード③を使用

## ≪ 1. 本機の充電 ≫ (充電方法)



電気が残っている他車、又は他のバッテリーに  
⊕クランプ (赤色) をバッテリーの⊕端子に、  
⊖クランプ (黒色) をバッテリーの⊖端子に接続する。

★ 24V 車に対し、12V バッテリーしか用意できない場合は P6 を参照する。



主電源スイッチを ON にする。(スイッチ自体が **グリーン** に点灯)  
バッテリーからの電圧を検知し、12V/24V のインジケータが  
点灯する。

12V モード時



24V モード時

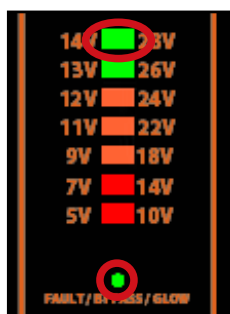


「表示ランプ」が「12V」又は「24V」のどちらかが点灯し、  
バッテリーの電圧と同一であることを確認してください。



操作スイッチ

操作スイッチを短く押す。



電圧インジケータ最上部のランプが **点滅から点灯** に変わり、  
「状態ランプ」が **グリーン** に点灯する。



主電源スイッチを OFF にする。



⊕、⊖クランプを外す。

## ≪ 2. 電気の供給、エンジン始動 ≫

△DC24V に充電されているものを DC12V で使用する時は、一度「表示ランプ」12V(レッド) が点灯するまで電圧を落とし、再充電してからご使用ください。



バッテリー上がり車のバッテリーケーブルの⊖端子を外す。

12V 車接続時



24V 車接続時



本体の主電源スイッチが OFF になっている事を確認し、⊕クランプ（赤色）はバッテリーケーブルの⊕端子に、⊖クランプ（黒色）をボデーアース（各車輛の整備要領書または取扱説明書に記載されている指定の場所）へ接続する。



主電源スイッチを ON にする。（スイッチ自体が **グリーン** に点灯）



操作スイッチ

操作スイッチを押す。

12V モード時



24V モード時

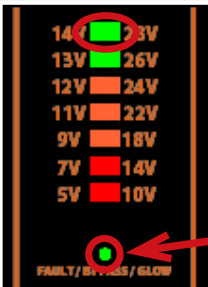


「表示ランプ」が「12V」又は「24V」のどちらかが点灯し、バッテリーの電圧と同一であることを確認してください。



操作スイッチ

操作スイッチを長く押し続け、「状態ランプ」が点滅したら離す。  
※余り長く押し続けていると「状態ランプ」が消え、機能が OFF になります。



電圧インジケータ最上部のランプが点滅から点灯に変わり、「状態ランプ」が **グリーン** に点灯したらエンジンを始動する。

状態ランプ



エンジンが正常に始動したら、⊖端子を接続する。



主電源スイッチを OFF にする。



⊕、⊖クランプを外して作業完了。

**△ 警告：危険：重要 △**

絶対に極性を逆にして使用しないでください。（⊕、⊖を逆接しないでください。）極性を間違えると爆発します。

モード③時におけるリバースやショート回路保護機能はありません。



## 【トラブルシューティング】

使用モード	不具合状態	対応策
全てのモード	充電後、クランキングした際にバッテリークリップから火花が発生した	接触不良の可能性があるためクランプの接続状態を確認してください。
	インジケータランプが正常に点灯しない (ランプが上から順に消え、その直後に点灯するを繰り返す)	インジケータの設定によるため故障ではないのでそのまま使用してください。
	状態ランプが赤色に点灯している	ジャンプコードのクランプが⊕・⊖逆接続されている場合、再度正しく接続し直してください。 バッテリーの電圧が低過ぎる場合、別のバッテリーを用意してください。
	12V と 24V 表示ランプが両方点灯している	本製品が 24V で充電された物を、12V バッテリーに接続している状態です。電圧が下がるまで放置するか、オプションの減圧器で放電し 12V に降圧してください。
モード①、②	操作ボタンを押しても充電が開始されない、または途中で止まってしまう	車のバッテリーが空に近い状態です。 プレチャージで再度行ってください。
モード①	ディーゼル車でクランキングした際に、クランキングの力が弱い	グローの加熱で本体の電気が使用されています。 モード②で行ってください。
モード②	クランキングした際に、開始直後はセルモーターの回りが非常に弱く、途中から急にセルが回るようになる	クランキング検知後に接続される機能のため、正常な動作です。 数秒程クランキングの検知に時間が掛かる場合があります。 数秒程連続でセルを回してください。
モード③	事前に充電しても、使用時に電気が無くなっている	充電された電気は1～2日で無くなってしまうので、現地で充電を行ってください。

**上記内容以外のトラブルの場合は修理が必要です。**

## 【保証期間】

### 保証条件について〔ご購入後1年間〕

- ⑨ 品質的または技術的な欠陥品は、欠陥品返品検証修理の手順に基づき修理または新品交換いたします。欠陥品かどうかの判断は発売元が決定いたします。
- 当保証は、事故・不正使用・交換・意図されている目的以外での使用、または取扱説明書に従わなかった場合の損傷につきましてはいかなる保証もいたしません。
- 当保証は正式な販売店から購入された物に限定させていただきます。
- 当保証を譲渡や移転する事はできません。
- 発送時に発生した損傷については送付側の責任となります。
- 返却品、輸送方法は販売店の許可が必須条件となります。

### 返却時の注意事項

- ⑨ 返却品の輸送方法は販売店の許可が必要で運送会社の指定等がありますので必ずお問合せの上、お送りください。
- また、輸送時の損傷を防ぐ為に十分な梱包を行ってください。
- 返却時に発生した損傷につきましては当保証では対応できません。
- 送付側の責任となりますのでご注意ください。